

# セキュリティ マネジメント アプライアンス ( SMA ) で RADIUS クラス属性を使用してグループ ロール マッピングを設定する

## 目次

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

## 概要

この資料に記述されています設定する方法をセキュリティ管理 アプライアンス ( SMA ) の Radius クラス属性を使用してマッピング グループ ロールの

## 要件

Cisco は SMA および RADIUSコンフィギュレーションの基本的な知識があることを推奨します。

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- AsyncOS 7.2.x および以降
- セキュリティ管理 アプライアンス
- RADIUSサーバ

Q. セキュリティ管理 アプライアンスの Radius クラス属性を使用したマッピング グループ ロールの設定する方法が。

A. SMA の RADIUS認証は管理者が SMA の Web 図形ユーザインターフェイス ( GUI ) へのアクセスをユーザに与えることを可能にします。さらに、それは SMA のためのオペレータのような異なるロールに、RADIUS クラス属性に基づいて、異なるユーザー グループをマップする機能を提供します。

SMA の Radius を使用して白地図グループ ロールの設定するステップはありますように:

SMA GUI から:

1. システム 管理 > Users への移動 ( 管理 アプライアンス タブの下で )
2. 外部認証の下で編集グローバル設定をクリックして下さい。
3. グループ マップの下: フィールド: 「RADIUS クラス属性」。

4. 「**IETF 属性型 25** の対応値を- RADIUSサーバからの**クラス属性**」入力して下さい。
5. ドロップするから**ロールを禁止**します入力して下さい。
6. 送信し、保存します。

RADIUSサーバはユーザグループに基づいて多くの属性のために設定することができます。ユーザが Radius によって認証されれば、SMA はグループ属性をチェックし、マッピング異なるロールの割り当てることができます。SMA は RADIUSサーバ (標準RADIUS属性 #25) で設定された RADIUS特性 クラス 値を一致する。

RADIUSサーバのクラス属性を設定するために、**管理者**として RADIUSサーバにログインする必要があります。

次に、例を示します。

- 考慮して下さい「**IETF 属性型 25 を-クラス属性は**」アドミニストレーター特権のユーザ向けの「**ドメイン Admin**」の値を表示します。
  - SMA の、「**RADIUS クラス属性**」型ドメイン Admin の下のおよび**管理者ロール**の下の RADIUSサーバ型
  - 「Add 列」をクリックして」列をマップしている多重「**グループを追加**することができます
- 注：RADIUSサーバは設定される同じクラス属性値がなければなりません。値は大文字/小文字の区別があります。